

ANA 全日本空輸様で実現

# 年間4500万人の

空の旅を守るフライト管理から、  
予約システムまでを信頼の技術力で実現。

新しいテクノロジーやアイデアを積極的に取り入れることで  
より安全・安心なフライト、より高度な顧客サービスの実現を目指す  
全日本空輸(ANA)のチャレンジを支える、東芝ソリューション。

世界の空へ翼を広げ、年間4500万人におよぶ人々に安全・快適なフライトを  
提供しているANA。最新鋭機ボーイング787の導入に象徴されるように、  
進取の精神でサービスの向上に取り組んできた。

そのANAが、新たな旅客予約や運航管理システムを構築するにあたって  
パートナーに選んだのが、東芝ソリューションだ。

同社は、1987年にチケット発券機の導入を担当。

予約端末「able(グッドデザイン賞受賞)」の小型化や、使い勝手の良さに妥協することなく  
取り組んだ姿勢が高く評価され、その後も信頼を培ってきた。

安全・安心を第一に考えた運航管理システム「FIS」の構築、  
旅行会社でのスムーズな予約を実現した「市内系able端末」、  
フルカラーLEDを使用した空港ロビーの総合案内表示システム「canary」など、  
トータルなソリューションを提供。さまざまな課題に対して効果的な解決策を示し、  
ソリューションの可能性を広げてきた。変革の時代を迎えた航空業界をリードしていく  
ANAの先進性を、東芝ソリューションのトータルソリューションが支えていく。

東芝ソリューションの航空旅客・運航システム

全日本空輸  
株式会社 IT推進室  
開発推進部 副部長  
松本 恭典 様

全日本空輸  
株式会社 IT推進室  
開発推進部長  
蔵本 直樹 様